

THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

平成6年1月1日発行

RECORDING INDUSTRY ASSOCIATION OF JAPAN 〒104 東京都中央区築地2-8-9 Tel (3541) 4411(代)

平成6年1月号 No. 410

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年、レコード協会は、私的録音補償金管理協会の設立に参加し、また、当協会加盟各社が中心となって音楽産業・文化振興財団を設立するなど、21世紀に向けての新たな活動の第一歩を踏み出しました。私的録音補償金管理協会の一員として、著作権法に基づく権利者と使用者間の新たな秩序形成の要請をうけ、機器・機材メーカーとの緊密かつ友好的な関係の維持に務めておりますが、一方では、新たな技術の開発によって、新たな問題への対応を迫られるという状況にあります。

音楽産業・文化振興財団は、日本の音楽をアジアへそしてアジアの音楽を世界へと発信することを目的に設立され、昨秋、漸く「アジア・ミュージック・フェスティバル」を開催し、また、「中国の音楽産業の調査研究」に着手するなどの活動に入ることができました。将来は、必ず我が国の音楽文化・音楽産業の発展

年 頭 所 感

問題解決のために

関係者間の協調と

グローバルなコンセンサスを

社団法人 日本レコード協会
会長 乙 骨 剛

に寄与するものと信じます。さて、昨年の年頭、当協会の目標として、高度情報化社会におけるレコード製作者には不可欠であると思われる「送信権」の設定と、レコードの二次利用に関する権利の及ぶ範囲の拡大など、レコード製作者の権益の拡充を掲げましたが、未だ緒に付いたばかりであります。

PIの調査によりますと、1992年度の全世界における海賊盤による被害額は20億ドル(約二千億円)に及んでいます。特に、東欧、南米、中近東、東南アジアの国々には海賊盤が多く、それぞれの国のレコード製作者の権利を侵害するだけでなく、世界中にその被害を与えています。

海賊盤は世界を巡り、デジタル技術の進展は、音楽、映像、コンピュータ・ソフトの融合を可能にしてその権利を輻輳させ、情報伝達手段に大変革を齎してソフトの権利者にインパクトを与えようとしています。

もちろん、これらの目標が簡単に達成できるものとは考えてはおりませんが、本年は、前記目標の実現に加えて「輸入権」の設定、海賊行為などの知的犯罪に対する罰則の強化を併せて訴えていきたいと考えています。

昨今のIFPIの最大の問題の一つは、海賊盤対策であります。IF

の問題にしても、海賊盤対策にしても、新しい技術に関する対応についても、一国のレコード製作者のみで解決できる問題ではなくなっています。当協会も、IFPIその他の関係者と協調し、グローバルなコンセンサスを得て、これらの問題の解決に当たらなくてはならないと考えます。

レコード会社が選んだ 平成5年の10大ニュース

当協会加盟のレコード会社から「平成5年の10大ニュースを選んで頂きました。類似内容については、各社の選出の趣旨を損なわないよう留意し、項目をまとめました。」

① 私的録音補償金制度発足

私的録音・録画問題は、平成4年12月16日改正著作権法が公布され、私的録音・録画に関する補償金制度の導入が決まりました。平成5年3月3日、社団法人私的録音補償金管理協会が設立され、文化庁長官の指定管理団体として発足しました。3月23日には私的録音関係の補償金の額が、文化庁長官の認可を得ました。

4月から5月にかけて、この制度の国民への周知を図るため、政府、関係権利者団体、著作権情報センターなどにより広報活動が展開されました。

② 8cmCD大幅伸長

改正著作権法は、6月1日施行されましたが、私的録画に関する補償金の額や団体はまだ決まっておられません。現在、私的録画委員会が検討されています。

平成4年から8cmCDの生産数量が増加傾向にありましたが、平成5年に入り、この傾向はますます顕著になっていきます。平成4年1年間8cmCDの生産数は約1億7千万枚でしたが平成5年は1億5千万枚に達する勢いで、全CD生産数に占める8cmCDの割合は平成4年が約33%、平成5年は42%に増えました。

③ 音楽産業・文化振興財団設立とアジア・ミュージックフェスティバル開催

音楽産業・文化振興財団は平成5年3月31日に設立され、4月から活動を開始しました。日本を始めアジア諸国間の音楽の交流を促進

し、これを世界市場に展開し、音楽産業・音楽文化の向上・発展に貢献することを目的にしています。11月15日、16日にはそれぞれNHKホール、渋谷オンエアにおいて、アジア・ミュージック・フェスティバル・イン・トウキョウ'93を開催しました。

その他、音楽産業の発展可能性に関する調査、中国の音楽産業に関する調査、音楽を軸とした地域文化振興調査などの調査事業を行いました。

④ 民生用CD-R問題

平成5年夏、日本の家電メーカー数社が、民生用CD-Rの商品化を発表しました。CDの内容・形態ともそっくり同じ、いわゆるクローンを作ることができる機器であることから、レコード製作者の権利に重大な影響を及ぼすものと考え、当協会は「国際・国内関係団体と協議して対処したい」旨の会長コメントを発表しました。この問題は、IFPI、家電諸社、その他関係者間で調整が行なわれることになりました。

⑤ 「AAA'93」キャンペーン実施

当協会を含む音楽関係の5団体が発起人となり、エイズ防止を目指して「Act Against AIDS'93(AAA'93)」キャンペーンを行いました。将来を担う若年層に拡がりつつあるエイズ撲滅のための啓蒙運動とその資金集めのために、エイズで亡くなったキース・ヘリンゲンのイラストをシンボルマークとしたキャンペーン・グッズの販売などを行ないました。

⑥ 音楽ギフトカードの普及拡大

音楽ギフトカードは、かなり一般に知られるようになってきており、平成5年度は前年比3割増の売り上げを上げています。

音楽ギフトカードの認知度をさらに高め、同時に販売店の予約業務の合理化・活性化を図るため、平成5年6月9日から音楽ギフト

カード予約券を発売しました。

⑦ 第2回廃盤セール実施

平成4年度に引続き、第2回廃盤セールを行ないました。平成5年度は、東京、札幌、名古屋の3会場で開催し、会員各社のご努力により、所期の目的を達成することができました。

⑧ 低価格政策の推進

公正取引委員会の要請を受けて、平成4年度より、当協会加盟各社は、小売価格の引き下げの努力を続けてきましたが、漸く一般の人々にもレコードが皆同じ価格ではないということが定着し始めたようです。また、若年層に偏ったレコード購買層を中高年に広げていくことを目的に、協会加盟各社は、旧譜のヒット曲のCDをシリーズ化して低価格で発売し、人気を博しています。

⑨ 中国の音楽業界視察ツアー実施

10月30日から11月6日までの8日間、乙骨会長他14名の一行は、北京で開催された第15回IFPIアジア/太平洋地域評議員会に参加すると共に、中国（北京、上海）の音楽市場を視察しました。

国家版權局、中国唱片總公司、上海ラジオ放送局などの会合、レコード店訪問などを通じて有益な情報を得ることができました。

⑩ レンタル店舗数の減少に歯止め

一九八十年に初めて出現した貸レコード店は、みるみるその数を増やし、十年目の一九八九年にはそのピークを迎え、全国で六、二一三店を数えましたが、以降減少に転じ、毎月40店ほど減少し、平成4年末には四、八八九店とピーク時から約22%減少しました。

しかし、平成4年末頃から減少のスピードが緩やかになり、平成5年1月からの1年間で、わずか百店ほどの減少に止まり、店舗数では安定したように見受けられます。

平成6年の重要課題

新しい年を迎えるに当たって、日本レコード協会は、加盟各社に、「平成6年の重要課題」を求めました。

この結果、次に掲げる5つの重要課題が指摘されました。

- レコード製作者の権益拡充に関する課題
- 送信権の確立
- レコードの二次使用権の及ぶ範囲の拡大
- 輸入権の設定 他
- 需要拡大に関する課題
- 旧譜の活性化
- デジタル伝送時代への対応
- 著作権思想の普及促進
- 不法複製物対策

(カラオケ教室での無断コピー)

- 東南アジア諸国との交流
- レンタル市場の秩序確立

レコード業界が21世紀に向けて、なお発展し続けるためには、ここに掲げる重要課題と積極的に取り組む、効率的に解決することが必要です。

レコード製作者の権益拡充に関する課題

平成5年度の重要課題にも掲げられておりましたが、レコード製作者にとって、最優先で取り組まなければならない課題であると考えられます。特に「送信権」については、米国内に於いても法制化が進められており、世界的な課題となっています。

また、ここに掲げた二次使用権の拡大や輸入権のほか、海賊行為等の知的犯罪についての罰則強化も併せて推進することが必要です。

需要拡大に関する課題

レコード総需要の拡大のために、会員各社

がフェアな競争の下に数多くの優れた新譜作品を常に送り出すことが第一義でありますが、同時に旧譜の活性化を根気よく行い、中高年層をも市場に誘引することが大切です。

当協会が必要拡大の一環として、7年前から取り組んできました①「日本ゴールドディスク大賞の顕彰、ゴールドアルバム等の認定、ヒットチャートの公表」と②「需要拡大キャンペーンの実施」そして③「音楽ギフトカードの普及・促進」は、いずれも会員各社の協力体制により、年々着実にその成果を上げてきておりませんが、本年は更にこれらをグレードアップさせ、社会的にも意義深い活動に育て上げることが必要です。

デジタル伝送時代への対応

デジタル伝送メディアが多様化・高度化した社会においては、これらノン・パッケージ系メディアによるレコード音楽の供給量が飛躍的に増大するとともに、多種多様な利用形態の創出が予測されております。このことは、レコードの流通と利用の在り方が、大きく変化することを意味します。レコード産業者が、将来にわたって発展して行くためには、デジタル伝送時代に備えた基盤整備に積極的に取り組まねばなりません。次に掲げる課題は、国内問題に止まらず、国際的な重要課題ともなっています。

- ISRCの実施徹底とデータベースの構築

デジタル伝送時代におけるレコード利用に對しては、権利が有効に機能する新しい秩序を構築するには、ISRCを活用した技術的対策を講じておく必要があります。

- 音楽用CDの高付加価値化

音楽用CDに、文字などの付加情報を記録して商品自体の魅力向上と、サービス機能を活用した再生・利用方法の拡大を図ることが必要です。

著作権思想の普及促進

〈不法複製物対策〉日本国内では、いわゆる海賊

盤は大変少なくなりましたが、最近、カラオケ教室において、市販のCDやテープから無断複製したカラオケテープの販売や、これを用いた歌唱が盛んになっています。このような行為は、著作権者隣接権の侵害行為となるため、当協会はJASRAC、芸団協と協調して、カラオケ教室や関係雑誌等に啓蒙広告を掲載し、著作権思想の周知に務めています。

●東南アジア諸国との交流および海賊盤防止の協議
21世紀はアジアの世紀といわれており、平成5年、当協会加盟各社が中心となり「音楽産業・文化振興財団」を設立し、東南アジア諸国との文化交流、東南アジアの音楽産業振興を図っています。しかし、音楽産業発展のネックとなるのがこの地域の海賊盤問題です。当協会は、この地域の著作権者、著作隣接権思想の普及活動を積極的に行うことが必要です。IFPIアジア太平洋地域評議員会でも、海賊盤の排除が最大のテーマになっています。

レンタル市場の秩序確立

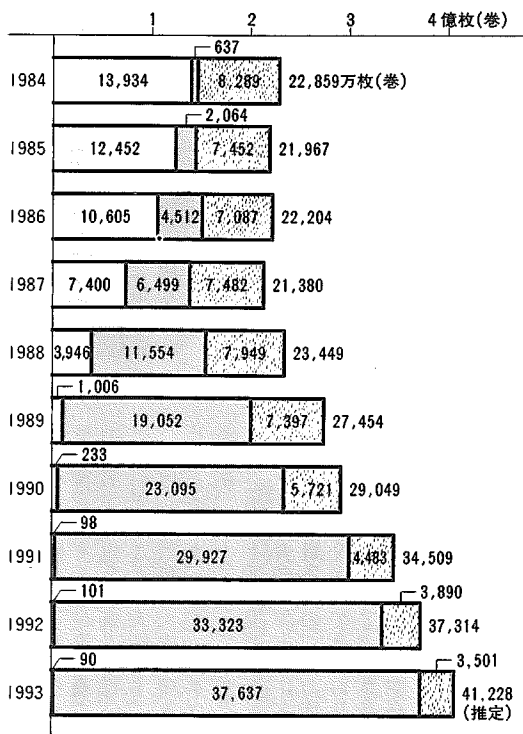
邦盤については、平成4年10月に新しい貸与権行使の第2ステップに入ってから、混乱もなく順調にルールが遵守されていますが、平成6年10月からは最終段階の第3ステップに入ります。両当事者の度重なる交渉を経て合意に達した「3週間禁止」が、スタートする訳ですが、これによって本当の意味でセル市場とレンタル市場が共存する下地が出来ることと思われま

す。洋盤については、外国のレコード製作者の貸与権行使によって新譜は1年間レンタル禁止となっていますが、レンタル店は、品揃えを邦盤シングルへシフトして売上減少分をカバーしています。しかし、貸与権期間を経過した洋盤CDは、現在でもレンタル店の89%で使用されています。洋盤に関する報酬請求権の新しいルールを確立するため、最大限の努力をする必要があります。

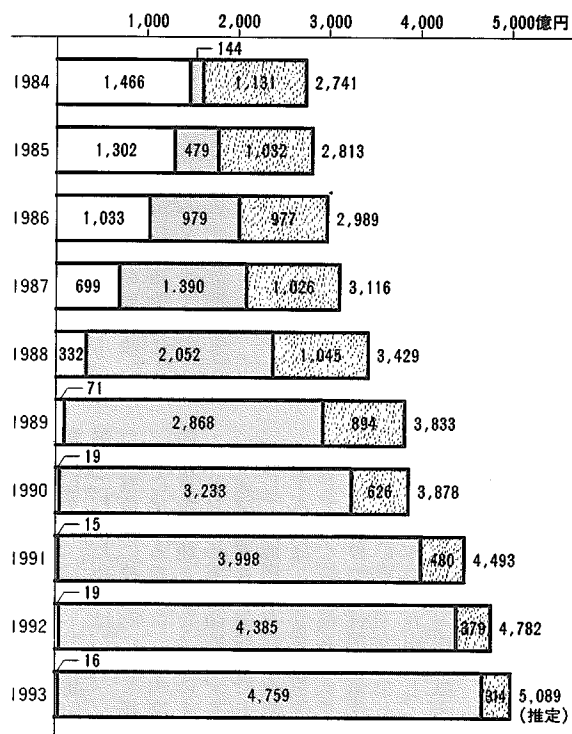
1993年生産の状況

1. オーディオレコード生産の推移 (ディスク/テープ)

(1) 年産数量 □アナログディスク □CD □テープ

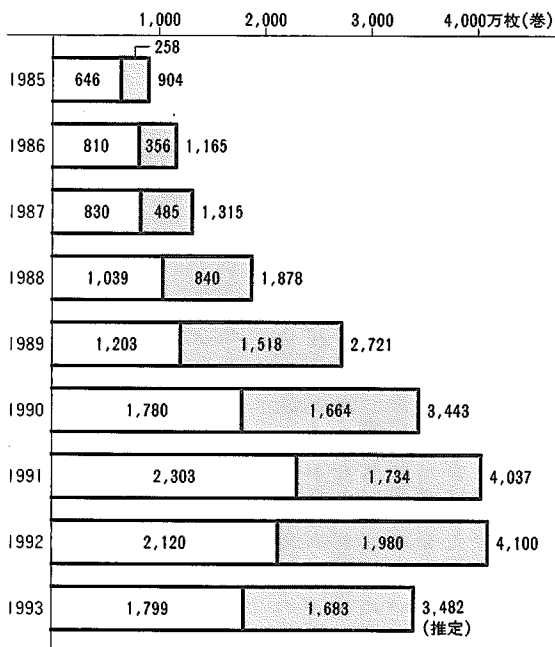


(2) 年産金額 □アナログディスク □CD □テープ

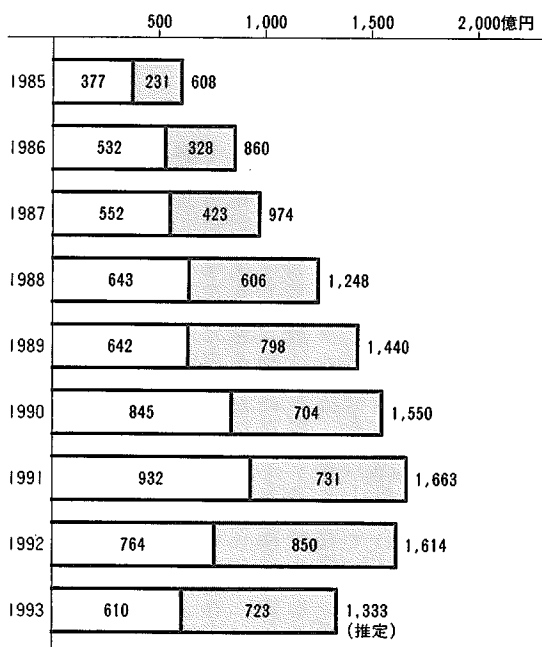


2. ビデオレコード生産の推移 (ディスク/テープ)

(1) 年産数量 □ビデオディスク □ビデオテープ



(2) 年産金額 □ビデオディスク □ビデオテープ



1993年レコード生産の概況

1993年（1～12月の推計）のレコード生産概況は、オーディオ、AV複合型及びビデオを合わせた総生産は、数量45,624万枚・巻（前年比108%）、金額6,504億円（前年比100%）となりました（当協会加盟各社の集計）。

オーディオレコードの生産は、数量41,228万枚・巻（前年比110%）、金額5,089億円（前年比106%）で、6年連続して数量・金額とも過去最高の実績となりました。

しかし、テープは、5年連続して数量・金額ともに大きく減産しました。

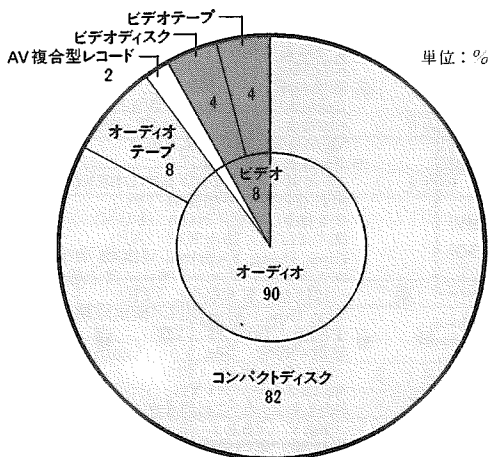
AV複合型レコード（CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど）は、生産数量は914万枚（前年比133%）と順調な増産を示しましたが、生産金額は82億円（前年比84%）に止まりました。

ビデオレコードの生産は、数量3,482万枚・巻（前年比85%）、金額1,333億円（前年比83%）で、ディスク・テープともに大きく減産となりました。

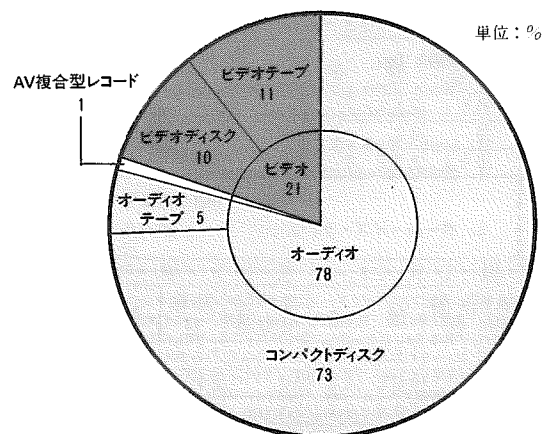
1993年レコード総生産高（推定）

種 類		数 量 (万枚・巻)	構 成 比 (%)	前 年 比 (%)	金 額 (億円)	構 成 比 (%)	前 年 比 (%)
オーディオ レコード	アナログディスク	90	0	89	16	0	84
	コンパクトディスク	37,637	82	113	4,759	73	109
	小 計	37,727	82	113	4,775	73	108
	テ ー プ	3,501	8	90	314	5	83
	合 計	41,228	90	110	5,089	78	106
A V 複 合 型 レ コ ー ド		914	2	133	82	1	84
ビ デ オ レ コ ー ド	デ ィ ス ク	1,799	4	85	610	10	80
	テ ー プ	1,683	4	85	723	11	85
	合 計	3,482	8	85	1,333	21	83
総 合 計		45,624	100	108	6,504	100	100

1993年レコード生産数量比率（推定）



1993年レコード生産金額比率（推定）



日本レコード協会ヒットチャートデータによるランキング

平成5年11月度(10月21日~11月20日)のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

順位	タイトル	アーティスト	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル 5位			
1.	TRUE LOVE	藤井フミヤ	(PC)
2.	きっと忘れない	ZARD	(BG)
3.	Jumpin' Jack Boy	WANDS	(BG)
4.	わがままに抱き合えたら	T-BOLAN	(ZA)
5.	Tears	X JAPAN	(EW)
■洋楽シングル 5位			
1.	ワイルド・ワールド	MR. BIG	(EW)
2.	ビーブル・ゲット・レディ	ロッド・スチュワート	(WJ)
3.	シーズ・オブ・ラヴ	ティアーズ・フォー・フィアーズ	(PH)
4.	海と旋律	マドレデウス	(TO)
5.	好きにならずにいられない	UB 40	(TO)
■邦楽・洋楽合同アルバム 5位			
1.	SELF PORTRAIT	槇原敬之	(WJ)
2.	Φ~Phi	米米 CLUB	(SME)
3.	Captain of the Ship	長渕 剛	(TO)
4.	Ivory II	今井美樹	(FL)
5.	Calling	福山雅治	(BV)
■クラシックアルバム 5位			
1.	ヴァイオリンの夜	古澤 巖 (Vn)	(SME)
2.	クリスマス・イン・ウィーン 「ザ・ギフト・オブ・ラヴ」	P. ドミンゴ, J. カレーラス, ダイアナ・ロス	(SME)
3.	ドヴォルザーク:交響曲第8番 ト長調 Op. 88 他	小澤征爾指揮 ウィーン・フィルハー モニー管弦楽団	(PH)
4.	「ともしび」~ロシア民謡集	鮫島有美子	(C)
5.	華麗なる大円舞曲 ショパン・ピアノ名曲集 2	アルトゥル・モイラリマ 他	(C)
■洋楽アルバム 5位			
1.	Music Box	マライア・キャリー	(SME)
2.	ソー・ファー・ソー・グッド ブライアン・アダムス・ベスト	ブライアン・アダムス	(PO)
3.	レット・イット・スノウ	ボーイズ・II・メン	(PO)
4.	愛の彷徨~シングル・コレクション 1981~1993	キム・ワイルド	(MV)
5.	ポール・イズ・ライヴ	ポール・マッカートニー	(TO)

※日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/テイテク(TE)/ポリドール(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパン(TK)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/日本フォノグラム(FG)/ポニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/アポロン(AP)/フォーライフレコード(FL)/バップ(VAP)/トラスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファレコード(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BV)/NECAベニュー(NA)/WEAミュージック(WEA)/メルタック(ME)/ハミングバー(HB)/TDKコア(TDK)/メディアモラス(MR)/AXEC(AX)/トイズ・ファクトリー・レコード(TF)/バンダイ(BD)/パイオニアLDC(Pi)/MCAビクター(MV)/ロッキットレコード(RO)/エイベックス・ディー・ディー(AV)/ピージ(BJ)/ヴァインレコード(ZA)/BMGルーミス(BM)/ビーグラム(BG)/ワン・アップ・ミュージック(EP)

11月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

11月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

■アルバム (28作品)

●クワッドラブル・プラチナ・アルバム

LOVE GOES ON...
/Dreams Come True (SME)

●ダブル・プラチナ・アルバム

SELF PORTRAIT/槇原敬之 (WJ)

Φ~Phi/米米 CLUB (SME)

Captain of the Ship/長渕 剛 (TO)

ユーズ・ユア・イリュージョン II

/ガンズ・アンド・ローゼズ (MV)

●プラチナ・アルバム

EXTRA FLIGHT II-Human Aircraft-

/LINDBERG (TK)

Ivory II/今井美樹 (FL)

Calling/福山雅治 (BV)

X SINGLES X (SME)

U. Be Love/大黒摩季 (TO)

オータム/ジョージ・ウインストン (PC)

LOVE DELUXE/シャーデー (SME)

LOVIN' YOU~BEST OF J.K.

/ジャネット・ケイ (SME)

1962年~1966年/ザ・ビートルズ (TO)

ホビー・コールドウェル・グレイテスト

・ヒッツ/ホビー・コールドウェル (PO)

●ゴールド・アルバム

THE VERY BEST OF UNICORN

/ユニコーン (SME)

MY HOME TOWN/小田和正 (FUN)

スーパーベスト/工藤静香 (PC)

With/谷村有美 (SME)

ONE/JUN SKY WALKER(S) (TF)

ジュリアナDJメガ・ミックス

/THE KLF 他 (TO)

紫の聖戦/ティープ・パープル (BV)

ライヴ・イン・ジャパン

/ティープ・パープル (WJ)

LED ZEPPELIN

/LED ZEPPELIN (EW)

ヴェリ/ベット・シヨップ・ボーイズ (TO)

ホエア・イズ・ラヴ/ホビー・コールドウェル (PO)

マシ・ヘッド/ティープ・パープル (WJ)

CALLING YOU/ホリー・コール (TO)

■シングル (29作品)

●ミリオン・シングル

TRUE LOVE/藤井フミヤ (PC)

愛を語るより口づけをかわそう/WANDS (TO)

揺れる思い/ZARD (BG)

君がいない/ZARD (BG)

このまま君だけを奪い去りたい/DEEN (BG)

●ダブル・プラチナ・シングル

RUN/長渕 剛 (TO)

きっと忘れない/ZARD (BG)

●プラチナ・シングル

TEARS/X JAPAN (EW)

You Are Free/CHAGE&ASKA (PC)

なぜに君は帰らない/CHAGE&ASKA (PC)

All My Loving/福山雅治 (BV)

最後の雨/中西保志 (C)

Jumpin' Jack Boy/WANDS (BG)

わがままに抱き合えたら/T-BOLAN (ZA)

Memories/DEEN (BG)

●ゴールド・シングル

だってそうじゃない!/LINDBERG (TK)

戻れない道/平松愛理 (PC)

今を抱きしめて/NOA (FUN)

僕のそばに/徳永英明 (AP)

Ding Dong Express/ZOO (FL)

カナディアン アコーデオンの井上陽水 (FL)

べにばな/五木ひろし (TK)

Try Boy, Try Girl/前田亘輝 (SME)

手酌酒/香田 晋 (TO)

最後の約束-See You Again-

/AMBIENCE (TE)

風にまぶしい/ZYYG (BG)

抱きしめたい/こわれながら美しくなれ

/REV (ZA)

影法師/堀内孝雄 (PS)

ラスト・クリスマス/ワム! (SME)

1993年11月レコード生産実績

表1. オーディオディスク

単位 数量：千枚・巻
金額：百万円

	11月実績						93年(1月～11月)累計							
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
アナログディスク	17センチ	邦洋	20	840	10	1006	76	0	682	43	0	990		
		計	20	840	10	1006	76	0	682	43	0	990		
	25センチ	邦洋	240	118	30	71	68	0	140	90	0	132		
		計	640	107	130	117	615	0	79	1,225	0	85		
	小計	邦洋	260	125	31	73	144	0	242	133	0	183		
		計	640	107	130	117	615	0	78	1,225	0	84		
C	8センチ	邦洋	14,855	35	124	9,676	16	129	140,428	40	139	88,691	20	140
		計	290	1	121	174	0	136	2,395	1	88	1,437	0	92
	12センチ	邦洋	19,649	46	92	36,628	62	97	136,950	39	100	242,819	55	100
		計	7,922	19	114	12,058	21	119	69,346	20	107	104,427	24	113
	小計	邦洋	34,505	81	104	46,304	79	103	277,377	79	116	331,510	76	109
		計	8,212	19	114	12,232	21	119	71,741	21	107	105,864	24	112
合計	邦洋	34,530	81	104	46,335	79	103	277,522	79	116	331,642	76	109	
	計	8,276	19	114	12,362	21	119	72,356	21	106	107,089	24	112	
合計		42,807	100	106	58,697	100	106	349,878	100	114	438,731	100	110	

表2. オーディオテープ

	11月実績						93年(1月～11月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カートリッジ	邦洋	0	0	0	0	0	4	0	9	4	0	10	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
カセット	邦洋	3,091	99	79	3,229	98	80	31,167	98	91	27,904	98	84
	計	39	1	58	54	2	51	521	2	72	677	2	67
合計	邦洋	3,091	99	79	3,229	98	79	31,171	98	91	27,908	98	84
	計	39	1	58	54	2	51	521	2	72	677	2	67
合計		3,130	100	78	3,283	100	78	31,692	100	90	28,586	100	83

表3. 複合型CD (CDグラフィックス, CDV, CD-ROMなど)

	11月実績						93年(1月～11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	1,663	100	272	1,365	100	189	7,941	99	132	7,487	100	84
洋盤	0	0	3	1	0	24	90	1	580	36	0	213
合計	1,664	100	267	1,366	100	188	8,031	100	133	7,523	100	84

表4. ビデオレコード

	11月実績						93年(1月～11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	1,967	46	80	6,799	42	83	16,328	51	85	55,227	45	80
テープ	2,353	54	101	9,398	58	87	15,621	49	86	66,330	55	86
合計	4,320	100	91	16,197	100	85	31,949	100	86	121,557	100	83

備考 1. 本年実績は、会員会社「27社」の集計である。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

迎春

■1994.1.1現在 加盟社27社(創立・加盟順)

日本コロムビア株式会社	〒107-11 東京都港区赤坂4-14-14	03-3584-8111
ビクターエンタテインメント株式会社	〒150 東京都渋谷区神宮前4-26-18 原宿ピアザビル	03-3746-5550
キングレコード株式会社	〒112 東京都文京区音羽1-2-3	03-3945-2131
テイチク株式会社	〒105 東京都港区虎ノ門1-21-17 虎ノ門NNビル	03-3506-8717
ポリドール株式会社	〒153 東京都目黒区大橋1-8-4	03-3780-8501
東芝EMI株式会社	〒107 東京都港区赤坂2-2-17	03-5512-1700
日本クラウン株式会社	〒107 東京都港区赤坂2-10-8 信和ビル	03-3582-4741
株式会社 徳間ジャパンコミュニケーションズ	〒105 東京都港区新橋1-18-21 第一日比谷ビル	03-3591-9179
株式会社 ソニー・ミュージックエンタテインメント	〒162 東京都新宿区市谷田町1-4	03-3266-5995
日本フォノグラム株式会社	〒106 東京都港区六本木4-8-5 和幸ビル	03-3479-3711
株式会社 ポニーキャニオン	〒102 東京都千代田区九段北3-3-5 NPビル	03-3221-3111
株式会社 ワーナーミュージック・ジャパン	〒107 東京都港区北青山3-1-2	03-5412-3111
株式会社 アポロン	〒162 東京都新宿区余丁町3-8	03-5379-3500
株式会社 フォーライフレコード	〒107 東京都港区南青山7-8-1 小田急南青山ビル	03-3406-6951
株式会社 バ ッ プ	〒102 東京都千代田区四番町5-6 日本テレビ四番町別館	03-3234-5711
トースレコード株式会社	〒150 東京都渋谷区神宮前5-7-20 神宮前太田ビル	03-3499-7080
株式会社 ポリスター	〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-14-6	03-5721-3211
アルファレコード株式会社	〒108 東京都港区芝浦3-5-39	03-3455-1791
株式会社 キティエンタープライズ	〒153 東京都目黒区大橋1-8-4	03-3780-8660
株式会社 ファンハウス	〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-20-7	03-3792-5200
株式会社 イーストウエスト・ジャパン	〒107 東京都港区北青山3-1-2	03-5412-3511
BMGビクター株式会社	〒150 東京都渋谷区渋谷1-7-8	03-3797-9020
NECアベニュー株式会社	〒213 神奈川県川崎市高津区久本2-4-1	044-857-7690
株式会社 メルダック	〒107 東京都港区北青山2-7-9 日昭ビル	03-3423-2525
パイオニアLDC株式会社	〒150 東京都渋谷区恵比寿南1-20-6	03-5721-4124
株式会社 メディアレモラス	〒160 東京都新宿区四谷4-28 YKBエンサインビル	03-3356-0361
MCAビクター株式会社	〒150 東京都渋谷区神宮前2-21-7	03-3796-3811

レコード…限りなく拡がる夢

私たちレコード会社は
レコードに託す夢を
皆さまといっしょに、大切に
育てていきたいと思ひます

社団法人/日本レコード協会 〒104 東京都中央区築地2-8-9
☎ 03(3541)4411(代)